**生理学講座適応生理学分野**

**教育・研究及び管理運営等に関するアンケート**

候補者 現職

 氏名

**１．医学教育**

①　学生（大学院生を含む）に対する講義、実習経験（担当分野と担当年数）

　　　担当分野　　　　　講義・実習区分　　　　　　担当年数

②　これまで基礎医学教育、基礎と臨床の融合教育において試みてこられた工夫等について記載してください。

　③　これまでの教育（講義・実習）に関する自己評価と学生による評価についてお書きください。

④　学生に対して知識、技能および態度を含む評価を確実に実施しなくてはいけません。しかし、技能・態度の評価に関して客観性を持たせることは容易でありません。技能・態度の評価に関して客観性を持たせるための具体策を示しながらお考えをお書きください。

⑤　医学教育におけるアクティブラーニングの重要性が叫ばれています。アクティブラーニングを行われているならばその内容について記載してください。行っておられない場合でも今後どのように取り組むかについてお考えをお書きください。

⑥　優秀な臨床医を育成していく中で、基礎医学教育（生理学）としてどのような取り組みを行うべきか、お考えがあれば記載してください。

⑦　研究マインドを持たない医師が増えており、将来の日本の医学・医療のレベル低下に結びつくことが危惧されています。医学教育の中で研究マインドを醸成するための方策等についてお考えがあれば記載してください。また、基礎医学教室に如何にして研究医を残すかについてお考えを記載してください。

⑧　新専門医制度が開始される中で，今後の大学院教育をいかにすべきでしょうか？また、大学院教育の中で生理学分野として果たすべき役割についてのお考えをお聞かせください。

⑨　国際基準に適合した医学教育内容の検討作業が続いています。医学教育分野別評価に関する、先生のこれまでの担当分野と今後の取り組みについてのお考え　をお書きください。

**２．研究**

①　教室員その他に対する研究指導実績（できるだけ具体的に）

②　施設内における専門的な研究グループの指導的位置にあるとすれば、その名称と年数

③　他施設との共同研究の実績（研究グループを結成しているなら、その名称、役割および年数）

④　提出いただいている研究業績目録の中で、Web of Scienceによる被引用回数の多い順に10編の原著論文とその被引用回数を以下に記載してください。（論文の記載様式は研究業績目録と同様で、筆者名、雑誌名なども記載）

**３．生理学とその関連事項**

①　これまでの生理学研究において顕著な業績のある領域とその内容を２００字程度でわかりやすく記載してください。

②　分子のレベルから個体まで総合的に研究を進めてきた経験がありましたら、具体的に記載してください。

③　橋渡し研究に携われた経験がありましたら、具体的に記載してください。

④　生理学講座には統合生理学分野があります。同分野の教育・研究・管理運営との関係についてお考えがあれば記載してください。

**４．大学・施設の管理運営**

①　大学・施設内における役職、各種委員会の名称と年数

 (注)管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば余白に記載してください。

　　　　役職名　　　　　　　　　　　 年数

**５．鳥取大学医学部にご赴任になった場合の教室の運営方針**

**６．その他参考となる事項**（これまでに査読した論文の雑誌名など。履歴書および研究業績目録の記載内容との重複は避ける。）

**７．お知らせ**

適応生理学分野は、統合生理学分野とともに生理学講座を構成しています。教授に就任されましたら、教育はこれまで適応生理学が担当してきた内容をお願いいたします（表）。尚、将来的に適応生理学分野と統合生理学分野を統合する可能性があることを申し添えます。

|  |  |
| --- | --- |
| **表：担当授業課目抜粋** |  |
| 1年次 | 基礎生物学 | ２コマ |
| 　 | 細胞生理学 | １４コマ |
| ２年次 | 基礎循環器学 | ７コマ |
| 　 | 基礎呼吸器学 | ７コマ |
| 　 | 基礎消化器学 | ４コマ |
| 　 | 基礎泌尿器学 | ５コマ |
| 　 | 基礎感覚器学 | ２コマ |
| 　 | 基礎血液学 | ４コマ |
| 　 | 基礎医学実習 | ３４～４５コマ |